

## 人間らしく働くための2010 北九州宣言（案）

私たちは、2010年11月20、21日の両日北九州市において、「第21回人間らしく働くための九州セミナー」を開催し、九州・沖縄から1000名の参加者を得て大きな成功をおさめました。

今回のセミナーは、「人間らしく働くために 労災職業病九州セミナー」の20年間の実績を基に、新たな名称「人間らしく働くための九州セミナー」に変更しての最初のセミナーでした。

そこで、セミナーの基調である「人間らしく働く」とは何なのか、どのような活動が必要なのかを徹底的に学び・考え・討論する場としました。

初日に行なった、毎日新聞記者の東海林智さんの記念講演「労働の尊厳を取り戻そう～私たちの命を守るために～」では、現代日本の労働の尊厳が奪われている労働実態がリアルに語られ、「人でありたい」と願う私たちにとって地域・労組・市民団体など幅広い連帯が重要であることが指摘され、参加者の心を打ちました。

2つのパネルディスカッション「若者の労働から考える私たちの未来」「子供の貧困と現代日本の働き方・働かされ方」、では、現代日本の激変する労働や貧困問題が若者や子供に深刻な歪をもたらしており、働く人々共通の課題として解決に向けた取り組みを進めることが確認されました。

さらに「労働とは何か」といった根本問題を考えようと、日本理化学工業会長大山泰弘さんの講演「働く幸せ～仕事で一番大切なこと～」を九州セミナーとしては初めて市民公開講座として開催します。

九州・沖縄各地から寄せられた報告・レポートも過去最高の106題にのぼり、働く人々の健康を守る活動の広がりを反映したものとなりました。

開催地の北九州現地実行委員会の学習を基本としたセミナー準備活動も貴重な成果です。「子供の貧困と現代日本の働き方・働かせ方」「長時間労働とメンタル不全」「青年の働き方・働かされ方」「今問われる生命と健康、九州セミナーの意義と歴史」「なくせじん肺・アスベスト全国キャラバン北九州集会」「プレセミナー」と結成総会を含め7回の100名規模の学習集會を成功させ、働く人びとの健康問題に取り組む運動の輪を広げてきました。「学び・調査し・行動する」一貫した活動である「セミナー運動」の新たな一ページを築いたものと確信しています。

昨年採択した「人間らしく働くための熊本宣言2009」では、労働者には健康で安全に働く権利があることを高らかに宣言し、労働時間・働き方の規制、全ての職場での労働安全衛生体制の確立、労災補償体制の充実・病気休暇制度の確立を求めています。この熊本宣言を実効あるものとするために、今回のセミナーで学びあった知識と、語り合った情熱で、職場・地域での活動を飛躍させ、人間らしく働き、暮らせる職場・社会の実現を目指して、参加者一人ひとりが取り組むことを誓い合ってセミナー宣言とします。

2010年11月21日

第21回人間らしく働くための九州セミナーin 北九州